

## 議事録（議事要旨）【第2回委員会】

- 1 日時：令和3年10月27日（木）14時～15時40分
- 2 場所：第二本庁舎 14階会議室
- 3 議題：＜議題1＞第1回委員会における質疑事項  
＜議題2＞夏季の生物付着状況について  
＜議題3＞各対策の評価について  
＜議題4＞その他
- 4 出席者：原猛也委員長、眞道幸司委員、小島隆志委員  
柏原弘幸委員、久野健一郎委員
- 5 議事要旨

### ＜第1回委員会における質疑事項＞

- 事務局から、第1回委員会における質疑事項として、現場海域の水質、消波装置の浮力についてのデータを説明した。

（委員からの主な意見）

- 現場海域の水質のデータについてはよく整理されており、今後の分析に十分活用できる。
- 消波装置の浮力のデータについては、実際の付着量と照らして引き続き確認を行うこと。

### ＜夏季の生物付着状況及び各対策の評価について＞

- 事務局から、生物付着状況の写真及び検討対象とする付着生物の種類並びに海水電解装置周辺の残留塩素濃度管理表等の説明を行った。

（委員からの主な意見）

【海水電解装置案について】

- 海水電解装置案は次亜塩素酸ナトリウムの濃度管理が適切に実施され、生物付着が抑制されおり、有効と考えられる。端部のエンドカバー付近に生物の付着がみられるため、端部の残留塩素濃度も計測しておくこと。

#### 【被覆カバー案について】

- 全周カバー案のカバー表面に生物付着が発生しているが、シートは柔構造であるため、清掃等はし易い可能性がある。カバー表面の生物付着が消波装置の沈み込みを発生させる要因となるか見極めが必要。
- 全周カバー案のカバーの中については生物付着が抑制されており、有効と考えられる。DO（溶存酸素量）の値も今のところ問題はない。
- 半周カバー案についてはカバーがない箇所において付着が多いが、カバーなし（無対策）と比較すると付着は少なく、まだ沈み込みは発生していない。引き続き経過観察をする。

#### 【吊り上げ案について】

- 吊り上げ案はいずれも生物付着が抑制されおり、有効と考えられる。なお水中設置期間3週、4週についてはシルトが付着しているが問題ない。また少量のフジツボが付着している。付着しているフジツボの分析を行っておくこと。

#### 【石積み案について】

- 石積み案に生物付着はみられない。築堤マットのほか、捨石均しの上に消波装置を乗せる対策も有効と考えられ、コストを比較する必要がある。

#### 【検討対象とする主な付着生物について】

- 検討対象とする主な付着生物の種類は妥当である。対象生物を増やすかどうかは今後の調査による。

#### 【今後の実験対象について】

- 夏季と冬季では環境が異なるため、各案とも実験を継続すること。

#### <その他>

- 第3回委員会の開催については、サンプル採取のことを配慮すれば、少し時期を空けた方が良い。12月後半～1月の範囲で検討する。

以上